

活動報告書

番 号

13

【団体の概要】

事業名： 通りすがりにネイチャーゲームinまきの

団体名： まきのシェアリングネイチャーの会

【活動の概要】

目的: 通りすがりの来園者に自然と触れ合うネイチャーゲームを体験していただくことで、牧野植物園をより深く理解し、自然の豊かさと多様性を体感していただく契機としたい。また、指導者等の養成・習熟の機会ととらえ、育成を図る。

内容: 牧野植物園を活用し自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム等を実施

成果: 来園者にネイチャーゲームを体験していただき、自然に対する見方や考え方を広げていただくことが出来ました。自然と触れる新しい場を提供出来ました。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年10月16日(日)

場 所： 高知県立牧野植物園

日程	時間	内容	詳細
	9:30	スタッフ集合	スタッフフィールド下見、受付
	10:00	開始	来園者に声かけ、受付 カモフラージュ、 フィールドビンゴ 2つのゲームを体験 アンケート
	11:00	閉式	集合写真

(備考) 9/18、12/18、1/22はコロナのため中止

参加人数: 大人 20名 ・ 子供(～17才) 名 / 外部講師 名 ・ スタッフ 7名

募集地区: 高知県内 募集対象: 牧野植物園来園者どなたでも

募集方法: 植物園と連携、チラシ 参加費等: 無料

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

<参加者>

- 普段意識してないことを知ることが出来ました。
- 新しい発見があり参考になりました。
- これから身の回りの自然にもっと目を向けようと思います。

<スタッフ>

○ネイチャーゲームの体験についてはアンケートの結果参加者の9割の方が初体験で自然体験メソッドとして、より普及していく重要性が明らかになった。高知県シェアリングネイチャー協会理事会で報告。会員のスキルアップや新しいネイチャーゲーム体験の場とすることが話し合われ、今後も充実させていく方向で一致した。○参加者の感想にあるように自然と触れる新しい場を提供出来たと感じてます。○課題としてコロナ禍の中でスタッフの感染対策が重要、実施に対して慎重にならざるを得ない。